



第50回大阪府空手道選手権大会実施要項

大阪府空手道連盟

- *大会日時 平成28年9月18日(日) 午前9時30分～午後5時30分
- *会場 大阪府立体育会館 第1競技場(大阪市浪速区難波中3-4-36 TEL 06-6631-0121)
(地下鉄御堂筋線難波駅下車=徒歩5分 南海電車難波駅下車徒歩5分)
- *競技種目
1. 府下郡市対抗団体組手の部
 2. 成年男子軽量級個人組手の部 (65Kg未満)
 3. 成年男子中量級個人組手の部 (65Kg以上～75Kg未満)
 4. 成年男子重量級個人組手の部 (75Kg以上)
 5. 少年男子個人組手の部 (無差別体重制限なし・高校及び同年令)
 6. 中学1年男子個人組手の部
 7. 中学2年男子個人組手の部
 8. 中学3年男子個人組手の部
 9. 成年女子個人組手の部 (無差別体重制限なし)
 10. 少年女子個人組手の部 (無差別体重制限なし・高校及び同年令)
 11. 中学1年女子個人組手の部
 12. 中学2年女子個人組手の部
 13. 中学3年女子個人組手の部
 14. 成年男子個人形の部
 15. 少年男子個人形の部 (高校及び同年令)
 16. 中学1年男子個人形の部
 17. 中学2年男子個人形の部
 18. 中学3年男子個人形の部
 19. 成年女子個人形の部
 20. 少年女子個人形の部 (高校及び同年令)
 21. 中学1年女子個人形の部
 22. 中学2年女子個人形の部
 23. 中学3年女子個人形の部
 24. 中学生団体組手の部
- *体重基準 1.軽量級 65Kg未満 2.中量級 65Kg以上～75Kg未満 3.重量級 75Kg以上
- *審判団 審判長: 副審判長:
公認組手・形審判員、及び組手・形有資格者で出席確認のあった者のみで構成する。
- *競技規則 (公財)全日本空手道連盟 組手・形競技規定に準ずる。一部本大会の申し合わせ事による。
- *組手競技 試合時間:全種目2分間流しの6ポイント差で勝敗を決定。
中学生・少年(高校生)はジュニア・カデットルールを採用。
- *形競技 審判員5名の旗による判定方式。(過半数を得た選手が勝者となる)
決勝までは2名同時に形を行をおこなう。
- | | | |
|-------|-------|---|
| 少年・成年 | 1・2回戦 | 全空連第1指定形とする。(連続の使用可) |
| | 3回戦 | 全空連第2指定形とする。 |
| | 4回戦以上 | 自由形とする。(但し、連続しての使用は認めないが下位の回戦で使用した形も可)
※全空連得意形リストより選択すること。 |
| | 決勝戦 | 自由形とする。下位のどの回戦でも使用していない形
※全空連得意形リストより選択すること。 |
| 中学生個人 | 予選 | 平安初段～五段,またはゲキサイ第1・第2。(連続の使用可) |
| | 準々決勝 | 全空連 第1指定形。 |
| | 準決勝戦 | 全空連 第2指定形。 |
| | 決勝戦 | 準々決勝、準決勝演武した形を除く指定形、及び得意形。
※全空連得意形リストより選択すること。 |
- *出場資格
- 1)その年度の有効な全空連会員登録者
 - 2)有段者以上の者(全員黒帯着用)
 - 3)団体・成年男子=全空連指定メンフォー、拳サポーター、セフティカップを着用。
少年=全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクター、セフティカップを着用する。
女子=全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。
中学生=メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。男子はセフティカップを着用する。
※どの選手も胴プロテクターは道衣の中に着用する。
 - 4)組手選手は眼鏡・コンタクト(ソフトを除く)を使用できない。
 - 5)各都市の監督は必ずジャージを着用の事。
- *出場人員 団体・個人とも出場人員においては多少の増員は認める。女子の種目においては出場数を制限しない。
- *出場費 個人競技 ¥2,500-(1種目に付き) 郡市対抗組手団体競技 ¥10,000-(1チームにつき)
中学生団体組手競技 ¥6,000-(1チームにつき)
- *傷害保険 選手は各都市で全員傷害保険に加入のこと。(出場選手の加入の有無は各都市で責任を持って確認をお願いします。)
- *分担金 各都市ともこれまでの大会と同額(別紙参照)
- *申込期限 平成28年 7月15日(金)までに各種申込書を府連事務局宛に郵送して下さい。(必着のこと)
必ず郵送をお願いします。(FAXでの申し込みは受け付けません)
- *提出宛先 〒578-0946 東大阪市瓜生堂1-2-26 大阪府空手道連盟事務局 並川和憲 宛
TEL 072-967-0001 携帯TEL 090-1967-7888



第50回大阪府空手道選手権大会実施要項

監督・選手・審判用

大阪府空手道連盟

※ 本大会に平成28年9月18日(日) 午前9時30分～午後5時30分
記

- ★ 大会日時 平成28年9月18日(日) 午前9時30分～午後5時30分
- ★ 会 場 大阪府立体育会館 大阪市浪速区難波3-4-36 (TEL 06-6631-0121)
- ★ 開 会 式 午前9時30分 選手・役員・審判団は全員所定の位置に整列を完了。
- ★ 競技準備 午前9時55分 開会式終了後、直ちに競技開始の準備をする
- ★ 競技開始 午前10時00分 審判長合図により一斉に競技開始

☐ 選手・監督

- ◎ 集合時間 午前8時40分 出席の確認は行ないませんので各自が時間を厳守のこと。
- ◎ 計 量 午前8時50分 成年男子の軽量・中量・重量の出場者は計量をアリーナで行ないます。
- ◎ 会場整列 午前9時25分 開会式のためアリーナに整列

☐ 審判員

- ◎ 集合時間 午前8時40分 出席の確認を行い、審判員席で待機のこと。
- ◎ 審判会議 午前8時50分 審判席の前付近で行います。
- ◎ 会場整列 午前9時25分 開会式のためアリーナの最右翼に整列のこと。

☆ 審判団 審判長： 副審判長：
公認組手・形審判員及び組手・形有資格者で出席確認のあった者のみで構成する。

☆ 審判員服装 (公財)全日本空手道連盟 競技規定による。

☆ 競技規定 (公財)全日本空手道連盟 組手・形競技規定に準ずる。一部本大会の申し合わせ事による。

☆ 組手競技 **試合時間＝成年男女、少年男女、中学生男女→2分間 全種目流しの6ポイント差で勝敗を決定。(団体戦も同じ)**
中学生・少年(高校生)はジュニア・カデットルールを採用。

☆ 形 競 技 審判員5名の旗による判定方式。(過半数を得た選手が勝者となる)
決勝までは2名同時に演武をおこなう。

少年・成年

1・2回戦	全空連第1指定形とする。(連続の使用可)
3回戦	全空連第2指定形とする。
4回戦以上	自由形とする。(但し、連続しての使用は認めないが下位の回戦で使用した形も可) ※全空連得意形リストより選択すること。
決勝戦	自由形とする。下位のどの回戦でも使用していない形 ※全空連得意形リストより選択すること。

中学生個人

予 選	平安初段～五段,またはゲキサイ第1・第2。(連続の使用可)
準々決勝	全空連 第1指定形。
準決勝戦	全空連 第2指定形。
決勝戦	準々決勝、準決勝演武した形を除く指定形、及び得意形。 ※全空連得意形リストより選択すること。

- ☆ 出場資格
- 1) その年度の有効な全空連会員登録者
 - 2) 全空連会員登録者で所属郡市以外の大会に重複して出場していない者。
 - 3) 有段者以上の者(全員黒帯び着用)
 - 4) 団体・成年男子＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、セフティカップを着用。
少年＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクター、セフティカップを着用する。
女子＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。
中学生＝メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。男子はセフティカップを着用する。
 - 4) 組手選手は眼鏡・コンタクト(ソフトコンタクトは自己責任のもと着用可)を使用できない。

☆ 出 場 費 個人競技 ¥2,500-(1種目に付き) 郡市対抗組手団体競技 ¥10,000-(1チームにつき)
中学生団体組手競技 ¥6,000-(1チームにつき)

☆ 傷害保険 選手は全員各自で傷害保険に加入のこと。(加入していない選手は失格となる)
出場選手の加入の有無は各郡市で責任を持って確認をお願いします。

- (注意事項)
1. 参加者は全員指定の安全具を付けること。(着用していない選手は失格になります)
 2. **各郡市の監督は必ずジャージを着用の事。**
 3. 万一事故が発生してもその場での応急処置は致しますが、事後の責任は一切負いません。
 4. 参加者は保険に加入していること。(加入していない選手は失格になります)
 5. 審判員はコート長の指示に従い交替で審判を行って下さい。
 6. コート内の設営(机、椅子、記計用具の設置)コートの実行委員全員で行って下さい。
平成28年 7月15日(金) までに各種申込書を府連事務局宛に郵送して下さい。(必着のこと)



第50回大阪府空手道選手権大会実施要項

大阪府空手道連盟

平成28年9月18日(日) 午前9時30分～午後5時30分

※ 審判員の方は下記の申し合わせ事項に従って競技の進行をお願いします。

- ① 試合は審判長の号令で一斉に開始をします。
- ② 背番号は第1・第3の副審が確認をして下さい。
- ③ コート長が得点板など競技用品のチェックしたのち責任を持って大会本部に返却してください。

☆競技規定 (公財)全日本空手道連盟 組手・形競技規定に準ずる。一部本大会の申し合わせ事項による。

☆組手競技 **試合時間＝成年男女、少年男女、中学生男女→2分間 全種目流しの6ポイント差で勝敗を決定。**
 中学生・少年(高校生)はジュニア・カデットルールを採用。
団体組手の部 勝敗が決定した時点で試合を終了する。

☆形 競 技 審判員5名の旗による判定方式。(過半数を得た選手が勝者となる)
 決勝まで2名同時に演武をおこなう。
 主審は笛と旗で同時に開始の合図をする。勝ちの宣告は座ったまま行ってください。

<u>少年・成年</u>	1・2回戦	全空連第1指定形とする。(連続の使用可)	
	3回戦	全空連第2指定形とする。	
	4回戦以上	自由形とする。(但し、連続しての使用は認めないが下位の回戦で使用した形も可)	
	決勝戦	自由形とする。下位のどの回戦でも使用していない形 ※全空連得意形リストより選択すること	
<u>中学生個人</u>	予 選	平安初段～五段,またはゲキサイ第1・第2。(連続の使用可)	
	準々決勝	全空連 第1指定形	} ※各コートは回戦に注意をしてください。
	準決勝戦	全空連 第2指定形	
	決勝戦	準々決勝、準決勝演武した形を除く指定形、及び得意形。 ※全空連得意形リストより選択すること。	

- ☆出場資格
- 1) その年度の有効な全空連会員登録者
 - 2) 有段者以上の者(全員黒帯び着用)
 - 3) 団体・成年男子＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、セフティカップを着用。
 少年＝全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクター、セフティカップを着用する。
 女子＝全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。
 中学生＝メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。男子はセフティカップを着用する。
※どの選手も胸プロテクターは道衣の中に着用の事。
 - 4) 組手選手は眼鏡・コンタクト(ソフトを除く)を使用できない。
 - 5) 各郡市の監督は必ずジャージを着用の事。